

Press Release 報道関係者各位

2026年(令和8年)2月26日
鍋屋バイテック会社SBT 認定の取得について

鍋屋バイテック会社(岐阜県関市桃紅大地1番地, phone 0575-23-1121, www.nbk1560.com, 資本金 96 百万円, 代表取締役社長:岡本友二郎)は気候変動対策における国際機関である「Science Based Targets initiative(SBTi)」より、当社の掲げる温室効果ガス排出削減目標が科学的根拠に基づいていることを認定する「SBT 認定」を2026年2月4日に取得しました。

SBT 認定とは、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標がパリ協定の目標に沿った科学的根拠に基づいていることを第三者(SBTi)が認証する制度です。Scope1(自らによる温室効果ガスの直接排出量)、Scope2(他社から供給された電力や熱使用などの間接排出量)、Scope3(Scope1/Scope2 以外の間接排出量)を対象として、国際的な基準で評価されます。

削減目標の範囲は、鍋屋バイテック会社だけではなく、海外現地法人およびそれぞれのサプライチェーンを含むものであり、SBT 認定で設定した目標に向かって、グループ事業全体で温室効果ガス削減に貢献していきます。当社はこれからも、科学的な目標に基づいた温室効果ガス削減を進めることで、持続可能な社会の実現とサステナブル経営の一層の推進に努めてまいります。

【当社の取り組みと削減目標値】

認定された削減目標値は以下のとおりです。この削減目標はパリ協定における「1.5°Cシナリオ」に合致する水準となっています。

Scope1 排出量	みずからによる温室効果ガスの直接排出量	2030年までに42%削減 (2024年比)
Scope2 排出量	他社から供給された電気の使用にともなう間接排出量	
Scope3 排出量	Scope1・Scope2 以外の間接排出量	2030年までに25%削減 (2024年比)

当社では、これらの目標を達成するために、以下の取り組みを推進しています。

● 再生可能エネルギーの導入

太陽光発電システムやオフサイト PPA による再エネ利用の導入により、2027 年中には鍋屋バイテック会社全体の 66%（2024 年の電力使用量ベース）が再生可能エネルギーに転換される見込みです。なお、オフサイト PPA では岐阜県内の水力発電、バイオマス発電を導入し、再生可能エネルギー比率の向上と同時に、エネルギーの地産地消にも貢献しています。

● 現場改善による二酸化炭素削減

鉄を溶かすために莫大な電力を消費する鋳物メーカーとして、当社は「ものづくり」の技術でも脱炭素に挑んでいます。一例として、材料投入量の最適化をおこない、溶解効率を高める改善を実施いたしました。この取り組みにより、1 日あたり 0.32t-CO₂ の削減を実現しました。これは、当社の鋳造工場「美濃工園」全体の排出量の約 2%に相当する大きな成果です。

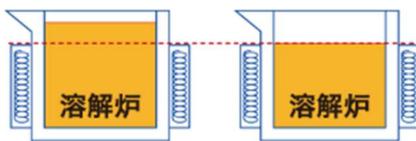
それ以外にも、現場の社員主導による「エアリークの徹底的な修理」や「鋳物砂の再生による産廃量の低減」など、エネルギーの効率化につながる改善活動を日々積み重ねています。「ものづくり」の力で技術を持続可能な製造現場の実現を目指してまいります。

改善内容

鋳造工程の「溶解」、主にプーリーの材料となる鋳鉄を溶かす工程です。

Method

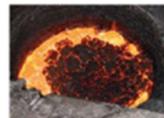
過剰な材料投入 ▶▶▶ 適切な投入量へ



これまでは溶解炉いっぱい材料を投入していたが、コイルの高さを超えてしまうことで、電力の使用効率が落ちることを発見。投入量を変更し溶解炉の電力最大効率化に成功。

Material

- ▶ 砂の付いた再利用材の廃止
- ▶ 溶解炉の壁をノロが付着しにくい材質に変更



ノロとは
鋳料理の「アク」のような材料に含まれる不純物です。

「ノロ」の発生を減らし、ノロ取り時間を短縮することで熱効率の向上に成功。

改善効果

この削減量は、1~2人暮らしの1ヶ月の電力使用量に相当します

電力使用量
削減効果 **750kWh/日**

地球温暖化防止にも貢献
CO₂排出量削減効果

0.32t-CO₂/日

美濃工園全体の
2%削減

杉の木 20本が1年に吸収する量と同じ!

- 航空輸送における SAF (Sustainable Aviation Fuel : 持続可能な航空燃料) の導入
Scope3 における排出量削減の取り組みとして、海外パートナー様からの輸入に使用するすべての航空輸送に、「SAF」を導入いたしました。SAF とは、廃油やバイオマス等から製造され、航空輸送における CO2 排出量を劇的に抑える次世代燃料です。SAF の導入により、当社では輸入にかかる航空輸送時の二酸化炭素排出量の 50% を削減しています。
- 仕入先様との協業
当社の生産活動は、数多くの仕入先様によって支えられています。当社が排出する全体の二酸化炭素排出量のうち SCOPE3 は 82% を占めており、さらに、SCOPE3 のうちカテゴリ 1 (購入した製品・サービス) の排出量は 69.8% を占めています。これらの削減のためには仕入先様との協業が欠かせません。仕入先様と共に持続的な成長をしていくために、各仕入先様における二酸化炭素排出量の見える化や排出量削減活動に対する協業を推進し、サプライチェーン全体で排出量削減を推進してまいります。

(本件問い合わせ先)

- 本件担当：
品質保証部 部長 福島真展
phone:0575-23-1162
e-mail: m.fukushima@nbk1560.com
- 広報担当：
常務取締役 丹羽哲也
phone:0575-23-1121
e-mail: t.niwa@nbk1560.com